

スタッフ個別評価・様式	実施日	令和 2年 10月 19日
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	氏名	11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	①送迎や訪問を利用して、介護職の担当者が月に1回自宅へ訪問して、話をする機会をつくる。そうすることで、ニーズを把握したり、不安な気持ちに気づき、必要な支援に繋げる事が出来る。 ②とにかく本人・家族の話を聴く。
---------	---

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	1	9	2	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	9		
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	9		
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	2	10		
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	7	1	1

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前には情報を共有し、その後関わった職員の支援経過などで更に情報を得て必要なことはミーティングなどで相談できている。分からないことは家族にも聞いている。 ・送迎時には必ずご家族にも声を掛け何でも話しやすい関係を作れるように努めている。 ・利用にあたり、過ごしやすいように席の配置などを相談して決めている。 ・お通い帳をやり取りすることで日の信頼関係の構築に努めている。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・独居の方が多いため訪問時の気遣いや声掛けが十分にできない。 ・自分自身の力不足で声掛けや気遣いが十分でないと感じる。 ・自宅での様子を把握できていない。 ・ニーズを拾い切れていない。 ・情報を確認はしている、ミーティングまではしていない。 ・家族の方と話ができていない。 ・どこまで支援していいのか考えてしまう。
---------	---

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・初めはお互いに緊張して遠慮してしまう。 ・行事や家族会、見学ができない ・初期支援の段階では利用者さんの暮らしが分かっていない。また初期段階では聞き取りや暮らしぶりを理解するのが難しい場合がある。(民生委員さんや近所の方から情報があると良いと思う) ・利用開始前のミーティングをする時間がとれない。 ・送迎の時に家族と接する時間をとるのが難しい。 ・声掛けや気遣いをしているつもりでも、相手に伝わっているのか分からない。
----------------------------	--

改善計画

①とにかく本人・家族の話を傾聴し、記録に残す。
②送迎や訪問を利用して、介護職の担当者が話をする機会をつくる。その中で、ニーズを把握したり、不安な気持ちに気づき、必要な支援に繋げる事が出来る。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和 2年 10月 19日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

氏名 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①担当者は利用者さんに毎回“やりたいこと”を聴いてみる。聴いた事は記録に残し、実践し振り返る。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		9	2	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	8	2	1
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	5	5	1
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		5	6	1
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1	5	5	1

できている点

- ・利用者さんのやりたいことは、できそうなことを中心にしてもらっている。
- ・記録をみることで「～したい」を把握でき、発信することで実践もできている。
- ・記録用紙のなかにケアプランがファイルされているので目に留まりやすくなっている。
- ・ミーティングで決まったことは継続して実行するようにしている。
- ・毎月の会議で実践について発言する場が設けられている。

できていない点

- ・まだ十分に把握できていない。
- ・実践したことで満足してしまい、振り返りができていない。
- ・すべての利用者さんの目標などを理解できていない。
- ・やりたいことを毎回聞くことはできていない。
- ・すぐ見えるところにケアプランが置いてあるが、全員の目標を把握できていない。
- ・利用者さんによっては意思表示が難しい人もある為聞き取りができないことがある。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・時間が取れずにじっくり関われない。他の業務で時間をとられてしまう。
- ・振り返りが後回しになってしまう。
- ・振り返りが不十分なことがある。
- ・簡単なことであればすぐに実践できるが、外出などは難しい。
- ・実現に向けてのチームの動きや実践してからの評価がない。
- ・畑作りなどは事前の準備が大変だから
- ・何がしたいのか具体的ではないことがある。言葉にかえて見える化する。

改善計画

- ①「～したい」の実践に向けて、人手が足りなくてもお互い協力する。
- ②実践を記録に残して、会議の場で振り返る。担当者が中心になって取り組む
- ③実践が難しいことは年間の計画を立ててボランティアなどの募集も行う。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和 2年 10月 19日

3. 日常生活の支援

氏名 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①毎月の行事にご家族を招待して、コミュニケーションをとる機会を増やす。行事の担当者は参加してもらえるように内容を考えて、案内文を作成する。
②新人職員でもライフサポートプランが理解できるようにケアマネが説明をする。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		1	9	2

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	2	8	1
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	10		
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		7	5	
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	9	1	
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	10		

できている点
・それぞれの状況に合わせて会議やミーティングで話し合い、支援ができています。
・気づいた変化などは職員全員で相談、周知している。
・声にならない声にきがつけるように傾聴している。
・行事の案内なども定着している。

できていない点
・声にならない気持ちを汲み取る事や言語化することはとても難しい。その場合共有にも時間がかかる。
・以前の暮らしや自宅での暮らしの情報収集が十分ではない。
・新型コロナウイルスの影響でご家族との交流が全くできなくなった。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
・考察の部分が記入できていない。
・家族との連携がとれていない。また、接する機会も減っている。
・コミュニケーションが難しい人もある。（認知症や精神障害など）
・体調の変化によって主訴がかわる人もあるが、人間理解は元々簡単ではなく、言語化できてもそれにとらわれてしまい、利用者さんの心から離れてしまう恐れがあるためより慎重に悩みながら行っていく必要があるため
・行事はコミュニケーションを図る一つのツールだと思うので本人や家族が参加できる内容を考え、案内を続けて家族からの要望にも対応できるようにしていく。
・今の暮らし方をみて、以前の暮らしを重要視していなかった。

改善計画

- ①利用者さんの気持ちや置かれている状況などを推察し、それに対して感じたことや実際の行動を書く。
- ②新人職員でもライフサポートプランが理解できるようにケアマネが説明をする。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和 2年 10月 19日

4. 地域での暮らしの支援

氏名 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①毎月の行事で、地域の活動やサークルと連携できるように企画して、地域の人と交流をする。行事内容は必ず地域の人に関わってもらえるようにすることで、利用者さんとその地域のことを知ることが出来る。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		1	5	6

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		10	2	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか？		10	2	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		9	3	
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		3	8	1

できている点

- ・記録を見れば生活スタイルや人間関係などが分かるようになっている。
- ・送迎や訪問で機会があれば家族とコミュニケーションをとるようにしている。
- ・新型コロナウイルスのせいで交流できない分、農作業や散歩などを行い、その際出会う人には挨拶などを行っている。
- ・地域交流を頭に入れて企画できている。少しのことで地域資源を把握している（人によって差はある）
- ・民生委員さんや隣近所の方で普段見守りしている人もあり、その人達とも情報共有して関わりが途切れないうちにしている。

できていない点

- ・地域資源の活用はできていない。分かっていない。
- ・関わりがある民生委員さんは分かるが離れているところの民生委員さんは分からない。
- ・地域の人と交流する機会がもてない。
- ・どのように地域で暮らしていたのかを十分に把握できていない。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- ・新型コロナウイルスのせいで地域との交流ができない。
- ・事業所と離れている人は地域資源と関わる機会が少ない。
- ・担当の職員に任せてしまっている。
- ・通いや泊りが中心の利用者さんの家に行くことは殆どない。
- ・介護施設の利用が始まると、地域との関わりが希薄になってしまう。
- ・ウィズコロナ、と言われるが、高齢者福祉の場合リスクが高すぎて行動に移すのが難しい。

改善計画

- ①今までの生活スタイルや人間関係、地域資源などを家族に教えてもらい、専用の記録用紙に記入する。
- ②（コロナ禍がおさまれば）毎月の行事で、地域の活動やサークルと連携できるように企画して、地域の人と交流をする。行事内容は必ず地域の人に関わってもらえるようにすることで、利用者さんとその地域のことを知ることが出来る。

スタッフ個別評価・様式	実施日	令和 2年 10月 19日
5. 多機能性ある柔軟な支援	氏名	11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①訪問サービスで、利用者宅付近を散歩する。一緒に歩くことで近所の方にも姿をみてもらったり、挨拶など交流し、知りえたことは私の暮らしまとめシートに記入する。
②地域資源について勉強する。(どこにあり、どのように利用するのか、窓口はどこかなど)

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		5	4	3

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		7	5	
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	6		
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	9		
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	10		

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・天候や家屋の状況や体調に応じた柔軟な対応ができています。 ・主治医などにも相談して対応している。 ・地区の配食サービスを利用している人もある ・訪問ではなくても地域の方に見てもらおうことができている利用者さんもある。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスのせいで地域資源の利用が難しくなっている。 ・地域資源について理解できていない。把握も勉強もできていない。 ・訪問時の散歩はできていない。 ・支援経過に記録しても、暮らしまとめシート（意向や地域資源を書き込むシート）に記入できていない。 ・家族の意向が優先し、もう少し自宅で過ごせそうな利用者さんもある。 ・地域資源を利用した支援ができていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問の件数が多いため、訪問のついでに外出するなどの対応が難しい。（時間の余裕はない） ・協力的な地域もあれば、そうではない地域もあり、関わり方が難しいと感じる ・地域資源のことを知らない、分かっていないので勧めることができていない。 ・記入するのを忘れてしまう。 ・家族の思いや仕事、用事が優先されがち

改善計画

- ①地域資源について勉強する。(どこにあり、どのように利用するのか、窓口はどこかなど)
- ②記録用紙に記入された地域資源を使ってどんなことが可能か利用者さんや家族に伝える。

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和 2年 10月 19日

6. 連携・協働

氏名 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①施設の行事に家族はもちろん、地域の人を招待して、色々な人が来てもらえるようにする。
②地域の方にボランティアに来てもらえるように働きかけて、活動内容を知ってもらったり、交流できたり、介護の相談が出来るようにしてみる。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		2	4	6

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	5	1	4
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		2	1	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1		1 1
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			1	1 1

できている点

- ・その他のサービス機関との会議は行われている。
- ・コロナ禍までは改善計画もできていた。
- ・地域の方から野菜などをいただく事もある

できていない点

- ・地域との関わりがなくなっている。

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・新型コロナウイルスのせいで交流できない
- ・一人の介護職員として地域包括や他の団体と関わるのが難しい

改善計画

①交流ができない状況なので事業所の情報を発信する広報誌を出す。（お便りを増やす）

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和 2年 10月 19日

7. 運営

氏名 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
①行事を通して施設の事をどの様に感じたかを教えてもらう。(行事毎にアンケートを実施)。
②意見が言いやすい環境づくりを行なう。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		4	6	2

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	1	7	4	
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	9	1	
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	7	4	
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	2	8	1

できている点

- ・ 毎月の会議で各職員が振り返りを提出することで意見が言いやすく、職場を良くしていけると思う。
- ・ 苦情の情報共有をし、対応を文書にして回覧している。
- ・ 会議で意見を出し合っている。
- ・ 地域の人に必ず挨拶できている。
- ・ 利用者さんからの不満に対してはなるべく受け入れ、気持ちが落ち込まないような声掛けをしている。
- ・ 運営推進会議を実施できている。
- ・ スタッフ同士ではあり方について意見できていると思う。
- ・ 利用者さんからの好き嫌いも苦情として対応している

できていない点

- ・ 交流もないため、地域の方からの意見や苦情が分かっていない。
- ・ 地域との協働。
- ・ アンケートの実施。
- ・ 運営推進会議が書面会議になっているため意見が反映できていない部分がある。
- ・ 苦情がどこまでが苦情か分からない。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- ・ 積極的に取り組んでいない。
- ・ 草取りやごみ捨てしか分からない。
- ・ 新型コロナウイルスのこともあり接触を控えている。
- ・ アンケートの取り方を工夫できていない。
- ・ 好き嫌いで苦情にできない。人間なので好き嫌いはあると思うが、どう判断してよいのか分からない。
- ・ 意見を言いにくい時がある。言ってもいいのか悩むことがある。

改善計画

- ①行事を通してのアンケートを準備する。
- ②運営推進会議でどのような意見がでたのか職員も分かるようにする。
- ③交流ができない状況なので事業所の情報を発信する広報誌を出す。(お便りを増やす)

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和 2年 10月 19日

8. 質を向上するための取組み

氏名 11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

①施設でスキルアップにつながる研修会の機会を増やす（外部の講師に来てもらう。所内研修をもっと時間をとって内容を濃くする）。
 ②研修に参加した人は記録を出すだけでなく、会議の場で報告をする。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		7	5	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		8	2	2
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	3	7
③	地域連絡会に参加していますか	2	3	1	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	3	1

できている点

- ・職場内の研修に参加している。
- ・ヒヤリや事故になりそうなことを先に考えて対応している。
- ・事故はもちろん、ヒヤリハット報告書を都度記入し、リスクマネジメントに取り組んでいる。
- ・外部の講師を呼んで研修ができていた時期もあった。
- ・研修情報は回覧できるようになっている。
- ・研修の報告書を回覧している。
- ・外部の研修に参加できている。

できていない点

- ・進んで研修に参加できていない
- ・外部の研修は参加する機会が減っている。
- ・会議の場で研修報告ができていない。
- ・利用者さんの暴力や暴言に対するマネジメント

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・研修に行く機会がない
- ・日程が合わなかったり、自分の目的に合わない研修もある。
- ・参加したい研修がない。
- ・個人によってスキルアップの温度差があるため
- ・休憩室に研修情報が掲示してあるが、休憩時間を使ってまで見る気になれない。
- ・研修参加後の報告の流れが把握できていない。
- ・運営推進会議でどういう文書（資料）があるのか、どういう意見があるのか職員もみれるようにしてはどうか？
- ・認知症や精神障害などで利用者さんから暴言暴力を受ける場合があるがそれに対するマニュアルがない。

改善計画

- ①地域連絡会の資料など分かりやすい所に配置する
- ②研修内容によるが利用者さんと一緒にDVDなどで一緒に学ぶ
- ③研修に参加した人は記録を出すだけでなく、会議の場で報告をする。

スタッフ個別評価・様式	実施日	令和 2年 10月 19日
9. 人権・プライバシー	氏名	11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<p>①虐待、身体拘束、プライバシー保護、成年後見、個人情報保護の研修を受ける。 ②記録物が簡単に目に触れないように記録を書く場所を決める。</p>
---------	--

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	1	11		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 身体拘束をしていない	9	3		
② 虐待は行われていない	9	3		
③ プライバシーが守られている	3	9		
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2	8	2	
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	1	11		

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束、虐待、プライバシー保護、成年後見、個人情報保護の研修を受けて心掛けている。 ・研修を重ねることで意識が大きくなっている。 ・目隠し（パーテーション）などを使って見えないように工夫したりしている。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えを探している間に半裸になっている時間が長くなってしまったことがあった。 ・自分ではできていると思っても言葉が適切ではない場合がある（か心配になる） ・理由を説明せずに「ちょっと待って」と言う ・裁断しなければいけない書類が可燃ごみに捨ててあることがあった。 ・利用者さんの隣で記録物を広げていることがある。 ・後見制度を利用できていない例もある。 ・駐車場に薬の袋（使用后）が落ちていることがあった。
---------	--

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）	<ul style="list-style-type: none"> ・衣類の整理ができていなかった。 ・定期的に研修に参加できていないので自分のケアが振り返れない ・意識不足 ・隣に人がいないと落ち着かない利用者さんがいるが、記録もしなければならぬから。 ・記録をまた見ようとそのままにしまった。 ・ノックをしても返事を待たずにすぐ開けてしまうことがある。 ・薬袋の管理方法に問題があったのではないかな？ ・成年後見に対して家族の理解がえられないことがある。
---------------------------	--

改善計画

- ①着替えをする場面が多い場所（風呂とトイレ）の近くに衣類のダンスを置く
②記録者が記録に向かえるように業務改善を行う。